

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅴ		演習・講義	前川 加奈・今井 絵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
中枢神経障害の病態を理解し、感覚検査・片麻痺機能検査・脳神経の検査・高次脳機能障害の検査技術を修得することが目的である。実際の場面や障害像を想定した評価が行えるよう実技をできるだけ多く行う。それぞれの検査の意義や結果の解釈の仕方を基礎的知識と結びつけ、理解することを目指す。				
授業の到達目標				
1. 各検査における基礎知識を理解できる 2. 検査の目的、注意点、手順を正しく理解できる 3. 検査を実践する技能を身につける 4. 検査結果の記載方法と考察について理解する 5. 疾患と関連づけて考えることができる				
授業計画				
回	内容			
1	高次脳機能障害 概要・評価①基本概念、注意障害について			
2	高次脳機能障害 概要・評価②失行、失認について			
3	高次脳機能障害 概要・評価③記憶障害、失語症について			
4	感覚検査 感覚の種類や伝導路 検査の目的 注意点 手順			
5	感覚検査 表在感覚検査方法（実技） 深部感覚検査方法（実技）			
6	感覚検査 温冷覚検査方法（実技） その他の検査方法（実技）			
7	感覚検査 検査方法（実技）			
8	脳神経の検査 脳神経の機能 検査方法（実技）			
9	脳神経の検査 脳神経の機能 検査方法（実技）			
10	脳血管障害の評価			
11	片麻痺機能検査 検査方法（実技）			
12	片麻痺機能検査 検査方法（実技）			
13	片麻痺機能検査 検査方法（実技）			
14	実技テスト（感覚検査）			
15	実技テスト（片麻痺機能検査）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%	（うち前川50%・今井20%）		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	30%	実技試験		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版	内山靖 岩井信彦 編		医学書院	
病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版	医療情報科学研究所 編		メディックメディア	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
ベッドサイドの神経の診かた 第18版	田崎義昭 斎藤佳雄		南山堂	
基礎運動学 第6版	中村隆一 斎藤宏		医歯薬出版	
自由記載				
備考				
*解剖学演習Ⅲ、中枢神経系理学療法学Ⅰの配布資料を常に持参すること				